第５学年　社会科授業案

場所　５年教室　授業者　５年❺

１　単元　どうなっちゃうの？日本の農業（本時　１４／１４）

２　本時の目標

・これからの日本の食料生産を発展させていくためには、専門家の努力のほかに、国民一人一人の努力が必要であることに気がつき、自分たちにどんなことができるのか考えることができる。（思考・判断・表現）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習形態 | アンプラグドプログラミング　 | 使用機器 | タブレット端末，大型テレビ，HDMIケーブル，OHC |
| プログラミング的思考とのつながり | コア・マトリクスを用いることで，課題について多面的・多角的な視点で追究し、自分の意見と友達の意見とを関連づけて情報を整理しながら、考えを深めたり新たな考えをもったりする。 |

３　展開

|  |  |
| --- | --- |
| 時間 | 学　　　習　　　活　　　動　　　　　　※教師の支援　◆ＩＣＴ機器の活用　☆評価※視点別にわかりやすくするために、コア・マトリクスを活用し、意見を分類して整理できるようにする。 |
| 2540 |  どのようにすれば、日本の食料生産を発展させていくことができるかな。みんなで共同して農業する大きな会社を作り、効率よくたくさん生産する地産地消を意識する価値を高める高齢化協力・協同さらにおいしいものを作るために品種改良を行うどのようにすれば、日本の食料生産を発展させていくことができるかな。農業体験を企画し、農業に興味をもってもらう◆発言の根拠となる資料を提示するために，実物投影機を活用する。ブランド化して価値を高めて、海外へも輸出している※農家の人や専門家が努力することに意見が集中した際には、「一人一人の努力が必要なこと」を考えている児童を指名する。安心・安全若い人を取り込むトレーサビリティのようにどこで生産されたかや生産者が分かるようにしている有機肥料を使って、安全なものをつくるようにしている外国の人に伝える農家や専門家の努力が大切だ　　　　　　　　　一人一人の努力が大切だ誰の努力が必要？※自分たちが、意識が将来を担っていることに気づかせるために、「一人一人の努力が必要なこと」の意見には色チョークを使う。農業を発展させるために自分たちにできることはないかな。【間接的応援】【直接的応援】・安心安全に食べ物が作られるように、環境にやさしいくらしをしていきたいと思います。・食べ物に感謝をして、給食を残さず食べるようにしたいです。食べることで食料生産を応援していきたい。・食べ物を買うときは、外国のものよりも安心安全な国産の食べ物を積極的に選ぶようにしたいです。・自分の家の畑や田んぼを守り、農業についてもっと勉強して、後を継いでいきたいと思います。※ふりかえりを共有し、友達が考えたことからも学ぶことができるようにする。一人一人の意識が食料生産の課題を解決していく糸口になるんだね。○話し合いから、自分が取り組みたいことを記述する。今日の授業を振り返ろう・日本の農業の未来が明るくないことを初めて知りました。少しでも、協力したいと思うので、国産のものを選んだり、環境にやさしいくらしをしていったりしたいと思いました。・私はいままで食料ついて何も考えていませんでした。米作りを体験したり、家の人にインタビューして調べたりする中で、食べ物を取り巻く課題を知ることができました。☆日本の食料生産を発展させるためには、私たち国民一人一人の努力が大切であることに気づき、考えたことや自分の意見を文章としてまとめることができたか。（ワークシート） |